



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月9日

上場会社名 リゾートトラスト株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 4681 URL https://www.resorttrust.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏見 有貴
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 業務部門管掌 兼CCO (氏名) 井内 克之 (TEL) (052) 933-6519
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け IR電話会議)
 (百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	130,572	5.9	15,350	39.1	17,320	50.6	9,669	36.1
2020年3月期第3四半期	123,339	7.8	11,035	18.0	11,500	15.6	7,104	19.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 10,116百万円(38.5%) 2020年3月期第3四半期 7,304百万円(46.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	90.32	83.20
2020年3月期第3四半期	66.37	61.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	431,278	139,554	31.2
2020年3月期	400,833	132,991	31.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 134,383百万円 2020年3月期 127,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	23.00	—	17.00	40.00
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	10.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	3.7	11,000	△5.6	13,000	4.2	6,200	△13.1	57.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	108,520,799株	2020年3月期	108,520,799株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,443,202株	2020年3月期	1,458,382株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	107,069,417株	2020年3月期3Q	107,046,386株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページをご覧ください。
- ・決算補足説明資料については、本日、当社ホームページ(投資家情報-IR資料)に「決算説明資料」を掲載いたします。(https://www.resorttrust.co.jp/ir/)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第3四半期連結累計期間の概況

※当第3四半期連結累計期間はコロナ禍において「実績」を重視するため、「前年同期」との比較を行っていません。

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	123,339百万円	130,572百万円	+5.9%
営業利益	11,035百万円	15,350百万円	+39.1%
経常利益	11,500百万円	17,320百万円	+50.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,104百万円	9,669百万円	+36.1%

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴い、経済活動が縮小し、多くの企業が事業活動の制限を余儀なくされております。依然として、収束が見通せない中で、先行きは極めて不透明な状況であります。

このような状況下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の状況は、4月～6月にかけて、国内の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う不要不急の外出の自粛や訪日外国人旅行者の著しい減少等により、会員権事業において会員権販売の営業活動が制限され縮小したこと、ホテルレストラン等事業において、ホテル等施設のクローズを行ったこと、メディカル事業において、健診施設のクローズやシニアレジデンスへの新規入居が鈍化したことなど、当社グループの事業活動へ大きな影響を与えております。このような環境下、7月～12月においては、「会員制」の事業を中心とした営業活動が底堅く推移しました。海外渡航ができない中、政府主導の「GoToキャンペーン事業」などにより国内旅行等に対する人の動きが戻りつつあり、高級リゾートへのニーズの高まりや、医療機関へ出控える中での健康への意識や会員制医療サービスへのニーズの高まりにより、ハイグレードなホテル会員権や、高額な旅行プランの販売、メディカル会員権の販売が想定以上に好転しました。また、9月には、予定通り「横浜ベイコート倶楽部」「ザ・カハラ・ホテル&リゾート 横浜」が開業を迎え、繰り延べられていた不動産収益を一括計上いたしました。

コロナ禍においても、会員様から継続的にホテルの利用や会員権見込み客の紹介をいただき、会員制ビジネスの強みを再認識するとともに、会員様、顧客の期待に応えるべく、当社グループ独自の3密対策や、メディカル事業での知見を活かした情報提供、会員様への電話相談などの実施のほか、「会員制の基本」に立ち返り、人と人とのつながりを強く、太くすることで、ニューノーマルに対応した当社グループの一生涯戦略を推進しております。

上記のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響や会員制ホテルの開業に伴う収益認識等により、売上高は130,572百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は15,350百万円（前年同期比39.1%増）、経常利益は17,320百万円（前年同期比50.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,669百万円（前年同期比36.1%増）となりました。

なお、第2四半期連結累計期間において、特別損益にて「新型コロナウイルス感染症による損失」を3,542百万円計上しておりますが、追加計上したことにより、当第3四半期連結累計期間においては3,553百万円の計上となっております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

②セグメントの業績概況

【会員権事業】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	30,053百万円	55,219百万円	+83.7%
セグメント利益又は損失(△)	10,512百万円	19,271百万円	+83.3%

会員権事業におきましては、2020年9月に「横浜ベイコート倶楽部」が開業を迎え、繰り延べてきた不動産収益を一括計上したこと、および、海外渡航制限などによりニーズの高まったハイグレードなホテル会員権の販売が好調に推移したことなどにより増収増益となりました。

なお、4月～6月にかけては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、特に首都圏での営業活動が制限され、強みである対面営業が行えないことなどにより、前年同期に比べて会員権の販売量は減少しました。このような環境下でテレワーク等の新たなセールスタイルへの対応やWEB経由やビジネスパートナー経由など新たな販売チャネルの研究など未来志向の挑戦を続けております。

【ホテルレストラン等事業】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	63,607百万円	45,710百万円	△28.1%
セグメント利益又は損失(△)	2,130百万円	△2,650百万円	－%

ホテルレストラン等事業におきましては、4月～6月における新型コロナウイルス感染症拡大に伴う不要不急の外出の自粛要請等の影響で施設をクローズしたこと、旅行や観光への消費者マインドの低下、特に法人従業員や団体、婚礼、宴会、会議等の利用の減少などにより、ホテル稼働率が減少したこと、特に一般ホテルにおいては、訪日外国人旅行者やビジネス利用客の著しい減少の影響を受けたことなどにより減収減益となりました。一方で7月以降、会員制の施設運営に対して安心感を感じていただくなど、ホテル稼働が回復基調にある中、政府主導の「GoToキャンペーン事業」などによる旅行ニーズの高まりも後押しとなり、高額なプランの販売が好調で消費単価は上昇傾向にあります。このような環境下で、メディカル事業の知見も活用した当社グループ独自の3密対策を行うなど、会員制らしい安心安全の追求を行い事業の持続的な価値創出を続けております。

【メディカル事業】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	29,177百万円	29,128百万円	△0.2%
セグメント利益又は損失(△)	4,441百万円	4,193百万円	△5.6%

メディカル事業におきましては、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員増加に伴う年会費収入等の増加のほか、シニアレジデンスの運営や、健診事業等が成長しておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、会員募集、入居者募集の営業活動が制限されたこと、健診施設では施設のクローズを行ったことなどにより減収減益となりました。一方で健康志向の高まりから「会員制医療サービス」が注目され、メディカル会員権の販売は好調に推移しております。このような環境下で、グループ事業への情報提供や支援によるシナジー創出へ貢献しながら最先端の医療・介護サービスの創造を続けております。

【その他】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	499百万円	513百万円	+2.8%
セグメント利益又は損失(△)	427百万円	429百万円	+0.4%

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は431,278百万円（前連結会計年度比7.6%の増加）となりました。これ

は、前連結会計年度末に比べ、仕掛販売用不動産が8,626百万円減少した一方で、現金及び預金が13,387百万円、営業貸付金が3,023百万円、有価証券が18,499百万円、投資有価証券が1,679百万円、新たなホテルの開業などにより有形固定資産合計が5,335百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は291,724百万円(前連結会計年度比8.9%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、前受金が19,863百万円減少した一方で、一年以内返済予定長期借入金が17,833百万円、長期借入金が14,445百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は139,554百万円(前連結会計年度比4.9%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が6,202百万円増加したことなどによるものであります。その結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は31.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月10日付で公表した当期の通期連結業績予想は以下のとおりです。

2021年3月期 通期連結業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	前連結会計年度 (実績)	当連結会計年度 (計画)	増減比	当連結会計年度 (前回8月7日付予想)
売上高	159,145百万円	165,000百万円	+3.7%	158,000百万円
営業利益	11,652百万円	11,000百万円	△5.6%	6,300百万円
経常利益	12,476百万円	13,000百万円	+4.2%	7,800百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	7,135百万円	6,200百万円	△13.1%	3,200百万円

通期業績見通しについては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、4月～6月にかけて、会員権事業における営業活動の縮小、ホテルレストラン等事業における施設のクローズ、メディカル事業における健診施設のクローズやシニアレジデンスでの新規入居者の鈍化など、訪日外国人旅行者の著しい減少や日本国民の県を跨いだ移動の制限、不要不急の外出自粛等による消費の減退など、当社グループの事業活動へ大きな影響を与えております。引き続き、第2四半期以降もコロナ禍の影響が続きましたが、2020年9月に開業を迎えた「横浜バイコート倶楽部」の会員権販売が当初の想定以上に進捗したこと、開業時に、これまで繰り延べられてきたホテル会員権の不動産部分の収益が一括計上された一方で、同時に開業した当社グループ国内初の一般ラグジュアリーホテル「ザ・カハラ・ホテル&リゾート 横浜」も含めた開業費用が先行的に発生したことのほか、政府主導の緊急経済対策などにより、人の動きが活性化し、緩やかに回復に向かいました。なお、資金繰りについては、第3四半期まで影響が続く前提をもって、安定かつ安全な経営を持続できるように万全の備えを行ってまいりました。現時点で、新型コロナウイルス感染症拡大の中で見えてきた「余暇」と「健康」へのニーズの高まりを着実に捉えていくことを前提とし、通期の連結業績予想を2020年11月10日付で上方修正し公表しております。なお、感染者数の増大に伴う1月7日以降の一部都府県における緊急事態宣言の再発令により、営業活動の一部縮小や施設利用の減少が見込まれることで、業績の先行きに不透明感が増しておりますが、現時点において、公表済みの通期業績予想については、大幅な変動を見込んでおりません。

上記の状況を鑑み、当社グループ全体として、売上高165,000百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益11,000百万円(同5.6%減)、経常利益13,000百万円(同4.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益6,200百万円(同13.1%減)と増収減益を見込んでおります。

なお、配当金の予想については、配当政策の基本方針に基づき、安定的な還元を継続するため、当初1株当たり中間配当額を10円としておりましたが、業績状況を鑑み5円増額の15円とし、期末配当額(予想)の10円とあわせて、年間配当額(予想)を25円と修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,164	34,551
受取手形及び売掛金	8,233	9,976
営業貸付金	53,549	56,573
有価証券	499	18,998
商品	1,167	1,029
販売用不動産	22,077	18,753
原材料及び貯蔵品	1,014	1,401
仕掛販売用不動産	12,357	3,730
その他	6,232	5,302
貸倒引当金	△1,000	△1,074
流動資産合計	125,296	149,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	103,562	119,407
機械装置及び運搬具（純額）	2,621	2,478
コース勘定	7,634	7,635
土地	44,886	49,242
リース資産（純額）	13,721	12,920
建設仮勘定	16,885	2,379
その他（純額）	4,436	5,018
有形固定資産合計	193,748	199,084
無形固定資産		
のれん	3,094	2,648
ソフトウェア	4,969	4,404
その他	2,516	2,393
無形固定資産合計	10,580	9,447
投資その他の資産		
投資有価証券	36,016	37,695
関係会社株式	1,368	1,328
長期貸付金	5,743	6,348
退職給付に係る資産	235	—
繰延税金資産	8,918	8,759
その他	19,536	19,850
貸倒引当金	△611	△477
投資その他の資産合計	71,208	73,504
固定資産合計	275,537	282,035
資産合計	400,833	431,278

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,117	1,696
短期借入金	—	1,314
1年内返済予定の長期借入金	8,107	25,941
1年内償還予定の社債	150	150
1年内償還予定の新株予約権付社債	—	29,738
リース債務	1,212	1,176
未払金	6,861	6,934
未払法人税等	1,785	4,567
未払消費税等	1,929	1,772
前受金	22,028	2,165
前受収益	17,002	21,939
債務保証損失引当金	52	50
ポイント引当金	588	1,171
その他	6,356	7,117
流動負債合計	67,192	105,736
固定負債		
社債	300	225
新株予約権付社債	29,770	—
長期借入金	31,016	45,461
リース債務	13,538	12,712
繰延税金負債	376	391
役員退職慰労引当金	2,099	2,149
株式給付引当金	1,803	1,989
退職給付に係る負債	2,231	2,543
長期預り保証金	31,870	31,065
償却型長期預り保証金	69,898	71,380
その他	17,744	18,067
固定負債合計	200,649	185,987
負債合計	267,842	291,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,590	19,590
資本剰余金	21,767	21,701
利益剰余金	88,294	94,496
自己株式	△1,802	△1,787
株主資本合計	127,849	134,000
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△450	724
為替換算調整勘定	728	△114
退職給付に係る調整累計額	△328	△227
その他の包括利益累計額合計	△50	382
新株予約権	313	313
非支配株主持分	4,878	4,857
純資産合計	132,991	139,554
負債純資産合計	400,833	431,278

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	123,339	130,572
売上原価	19,366	31,492
売上総利益	103,972	99,080
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	35,606	32,665
役員退職慰労引当金繰入額	80	50
修繕維持費	3,177	2,248
貸倒引当金繰入額	108	85
水道光熱費	4,426	3,445
減価償却費	7,318	6,835
その他	42,219	38,397
販売費及び一般管理費合計	92,937	83,729
営業利益	11,035	15,350
営業外収益		
受取利息	993	792
受取配当金	60	60
持分法による投資利益	12	—
貸倒引当金戻入額	139	141
債務保証損失引当金戻入額	1	1
助成金収入	44	1,664
その他	171	194
営業外収益合計	1,424	2,855
営業外費用		
支払利息及び社債利息	446	335
持分法による投資損失	—	37
控除対象外消費税等	293	315
為替差損	114	34
その他	105	163
営業外費用合計	960	885
経常利益	11,500	17,320

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	—	2
投資有価証券売却益	147	—
関係会社株式売却益	—	0
助成金収入	—	1,497
特別利益合計	147	1,499
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	19	24
減損損失	—	50
投資有価証券売却損	144	—
役員退職慰労金	30	—
新型コロナウイルス感染症による損失	—	3,553
その他	0	228
特別損失合計	195	3,856
税金等調整前四半期純利益	11,452	14,964
法人税、住民税及び事業税	3,212	5,670
法人税等調整額	934	△388
法人税等合計	4,146	5,281
四半期純利益	7,306	9,682
非支配株主に帰属する四半期純利益	201	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,104	9,669

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	7,306	9,682
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	437	1,175
為替換算調整勘定	△509	△842
退職給付に係る調整額	71	101
その他の包括利益合計	△1	433
四半期包括利益	7,304	10,116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,102	10,103
非支配株主に係る四半期包括利益	202	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	30,053	63,607	29,177	122,839	499	123,339
セグメント間の内部売上高又は振替高	23	1,461	274	1,759	1,229	2,988
計	30,077	65,069	29,451	124,598	1,729	126,327
セグメント利益又は損失(△)	10,512	2,130	4,441	17,083	427	17,511

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	17,083
「その他」の区分の利益	427
全社費用(注)	△6,475
四半期連結損益計算書の営業利益	11,035

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「メディカル事業」セグメントにおいて、当社子会社トラストガーデン(株)が、(株)シニアライフカンパニーの株式を取得し、子会社化したことにより、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては47百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	55,219	45,710	29,128	130,058	513	130,572
セグメント間の内部売上高又は振替高	24	1,853	170	2,047	1,588	3,636
計	55,244	47,564	29,298	132,106	2,102	134,209
セグメント利益又は損失(△)	19,271	△2,650	4,193	20,815	429	21,244

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	20,815
「その他」の区分の利益	429
全社費用(注)	△5,893
四半期連結損益計算書の営業利益	15,350

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ホテルレストラン等事業」セグメントにおいて、施設閉鎖の決定に伴い、当第3四半期連結累計期間に50百万円の減損損失を計上しております。